

うた声、ドリーム色のロマンチック街道

さわやか色のコース

JR・阪急宝塚駅から宝塚ガーデンフィールズ→ベガ・ホール→清荒神→売布神社→黙想の家→市村鳥姫神社→中山寺→阪急中山駅までの約2時間30分のさわやかコースです。

ロマンチックな思いをよせる宝塚の中でも最も宝塚らしいコースです。すみれの花さく頃...のメロディを口ずさみながら花の道を行けば、気分はもうスターです。ファッションの店、食べものの店、コーヒーショップなど小粋なお店をながめながら、宝塚大劇場の楽屋口へと続きます。軽やかなファッションで身を包んだ上級生と下級生がさわやかなあいさつを交わす場面に出会うかもしれません。カリヨン屋のベガ・ホール、「火の神様」の黙想さん、売布神社、大庭園の黙想の家、市村鳥姫神社、安産の観音様の中山寺でゴール。古い歴史と新しい文化が融けあったさわやか色の宝塚を味わってください。



さわやか色のコース  
ウォークマップ  
所要時間  
約2時間30分

沿線  
観光ガイド



ソリオ宝塚 (B-2)



JR宝塚線、阪急宝塚線・今津線、そして国道176号が集中する宝塚駅前地区に、平成5年春にオープン。「フェスティバル型のエレガンスタウン」をコンセプトに多目的ホールと会議室を備えた文化施設「ソリオホール」をはじめ、住宅・ホテル・オフィス、そして快適ショッピングが楽しめる専門店と百貨店、まさに宝塚の玄関口にもふさわしいアメニティエリアです。

観光噴水(ビッグフェニックス) (C-3)



観光プロムナード構想及び中心市街地の活性化のシンボルとして平成13年8月に完成。未来永劫の鳥「BIG PHOENIX」の誕生から、大空へ優雅に羽ばたく様子を刻々と噴水制御により実現します。夜間は水中照明により噴水を美しく浮かび上がらせ、宝塚の夜景をより一層華麗にします。

宝塚温泉 (B-2)



清流の武庫川河畔に面し、緑の六甲山等の山並みを背景にして、自然の恵みが豊かな所にあります。そして宝塚歌劇へは歩いて行くことができます。交通が便利で温泉が手軽に利用できることから、ゆったり楽しめる多目的なレジャー基地として利用されています。また、六甲全山縦走路(神戸・須磨〜宝塚)のゴール地点にもなっています。歴史は鎌倉時代と古く、泉質は、炭酸ガスを含んだ塩泉で神経痛、肥満症などに効果的目があるとされています。

花のみち1番館・2番館 (C-2)



花のみち沿道に平成12年9月オープン。パザールやマーケットで活気にあふれる花・緑・賑わいをテーマにした3つの広場や、デッキ、ブリッジ、ストリートなどが変化のあるリズムミカルな風景を連続して浮かび上げるロマンチックな街並みを魅了。上層部には個性的な住宅を配し、1・2階には喫茶店やレストランなどの飲食店のはかに宝塚らしい雰囲気を持つ可愛いお店が並んでいます。また、3階には花をモチーフにしたアンティークギャラリーを配したバラエティ豊かなショッピングストリートとなっています。

宝塚はな回廊 (C-2)



花と緑に囲む宝塚の歴史、文化を情報発信するとともに花や緑をテーマとした新しい都市生活を提案する新産業を育成支援する施設として平成12年9月にオープン。花と緑に包まれた新しいライフスタイルを提案する家具や雑貨などのギャラリー「華生活」と花をテーマとして見て、触って、開ける参加型ショールームとパーティーも開けるイベントホール「花工房」が話題を結ばれています。

花のみち (C-2)



宝塚駅から宝塚大劇場に向う通り道「花のみち」は宝塚のイメージを象徴する道です。両側に車道を配し、一段高くなった中央部の歩道はまさに宝塚の舞台に通じる花道と呼ぶにふさわしい道で平成12年にリニューアル。春は桜の花が咲き誇り、華やかさがひとときを彩ります。歌劇ファンが喜ぶかわいい店も立ち並んでいます。

宝塚歌劇・宝塚音楽学校 (D-3)



大正3年誕生以来、「清く・正しく・美しく」をモットーに、「花・月・雪・星・宙」の5組が演じる華麗なステージは、多くのファンを魅了してきました。数多くの話題作の中でも、「ベルサイユのばら」は大好評を博し、タカラヅカの名を不動のものにしました。また、海外公演も大成功を収め、国際親善にも貢献しています。平成5年には、豪華な内装と最新の舞台装置を備えた大劇場がオープンし、感動のドラマにファンが熱い視線が注がれています。歌劇生になるため2年間、勉強に取り組み「宝塚音楽学校」も近くにあります。

<毎週水曜日は休演>

手塚治虫記念館 (D-3)



戦後漫画の革命児であり、宝塚ゆかりの世界的漫画家・手塚治虫(1928~1989年)の偉業を広く後世に伝えることを目的に平成6年4月25日に新設。「自然への愛と生命の尊さ」を基本テーマに、簡易アニメーションの制作体験や手塚作品の全国巡回展、オリジナル作品等の映像観賞が楽しめる新しいタイプの記念館です。

宝塚ガーデンフィールズ (D-2)



平成15年9月、「宝塚ファミリーランド」の跡地の一部を利用した、緑やペットと暮らす豊かなライフスタイルを提案する新施設「宝塚ガーデンフィールズ」がオープンしました。当施設は、癒し・想いを求める時代のニーズに応える施設として、英国風ナチュラル庭園を中心にペット・パークやダイニングレストランなどで構成され、一日ゆったりとお過ごしいただけます。



宝塚大橋 (D-3)



「宝塚大橋」は武庫川にかかる、全国でも珍しいガーデンブリッジで、噴水や彫刻、四季折々の花壇、ベンチなどがあります。橋を渡ると手塚治虫記念館や宝塚音楽学校、宝塚大劇場に通じます。

サンビオラ (D-3)



阪急宝塚南口駅前の街「サンビオラ」は、宝塚中心街へのもう一つの入口です。歌劇生が行き交うおしゃれな街で、国際都市にふさわしく国際・文化センターもあります。



ベガ・ホール (G-6)



塔屋につけられたカリヨンが優雅に時を刻み、パイオルガンのある音楽専用ホール。手割りのレンガを重ねた内壁やゆったりした座席スペースなど音響効果を最優先して設計されています。「宝塚国際室内合唱コンクール」や「ベガ音楽コンクール」などのビッグイベントが毎年開催され、好評を得ています。

清荒神清澄寺 (G-4)



「荒神さん」の名で親しまれる真言三寶宗の古刹で、寛平8年(896年)宇多天皇の轉願によって建立されました。同天皇から「日本第一清荒神」の称号を受けたことから「かまどの神様」「火の神様」として厚い信仰を集め、境内には大小さまざまな火箸が奉納されています。毎月27日・28日例祭日。1月の初荒神、年末の納荒神には、多数の参詣者が境内はもちろんのこと多種多様な店が軒を連ねる参道まで埋め尽くします。本尊の大日如来坐像は国の重要文化財となっています。

鉄斎美術館 (G-4)



清荒神清澄寺境内にあり、富岡鉄斎は独自に南画の世界を拓いた文人画家で近代日本画壇の巨匠。鉄斎と親交の深かった先々代住職が半世紀以上に渡って蒐集した作品を系統的に公開展示しています。所蔵作品は、絵画、書をはじめ、絵付けを施した器物、先人の構図や配色を学びとるために模写した粉本等、晩年の傑作を中心に約1,000点を数えます。

<原因毎週月曜日は休館>



売布神社 (H-5)



創立610年と伝わる格式ある衣・食・財の守護神、縁結びの祭神をまつる古社です。社殿を取り巻くように茂る木々に野鳥たちが集い、愛らしいさえずりを聞かせてくれます。13,000㎡の境内全域が環境保全地区に指定。シイ林などの社蓋は、市の天然記念物です。

小浜宿 (H-6)



国道176号線が走る小浜の交差点の北、皇大神社を中心とした一角は、戦国時代に毫根寺の寺内町で武装都市として誕生し、江戸時代には小浜の宿と呼ばれ有馬街道の前場町として栄えたところです。今でも虫籠風の二階窓の民家などに当時の雰囲気をとどめ、本陣や馬の乗り継ぎ所であった馬借、宿屋の跡をたどることもできます。平成13年4月にオープンした市立小浜工務館(とんから館)にもお立ちください。また、昔から上の宿をおしてくれるといわれる「首地蔵」も小浜にあります。最近では、顔が良くなるということで受験生にも人気があります。

ピピアめふ (H-5)



清荒神、売布神社、中山寺を結ぶ歴史街道の中間に「ピピアめふ」が平成11年10月できあがり、斬新なデザイン、ポップな色使いが訪れる人々の目を楽しませています。最寄品を中心に新鮮な食材からライブグッズまでを品揃えしたショッピングゾーンと住宅、そして待望のシネマ、和風ホールやライトスポーツルーム等、参加型文化・情報発信の拠点とコミュニケーションスペースとしての公益施設も配置しています。



中山寺 (I-4)



西国三十三所の観音霊場、第二十四番札所。また、「安産の観音様」として各地からの参拝者で賑わう格式の高い寺です。聖徳太子が大仲城と忍熊王の霊を祀るために建立されたと伝えられる古寺で、伽藍はたびたびの兵火のため消失しましたが、豊臣秀頼によって再建されたのが現在の建物です。カヤの木から彫り出された本尊十一面観音菩薩立像をはじめとして、数多くの国や県の重要文化財が祀られています。